

ユネスコ創造都市ネットワーク（UCCN）「ミッションステートメント（基本的な指針）」

（ユネスコ本部ホームページの仮訳）

<役割>

ユネスコ創造都市ネットワーク（UCCN：the UNESCO Creative Cities Network）は、2004年に発足し、**経済的、社会的、文化的、環境的側面において、創造性を持続可能な開発の戦略的要素として認識している都市間の協力を強化すること**を狙いとしています。

このネットワークに参加することで、各都市は優良事例を共有して、創造性と文化産業を促進するパートナーシップを構築し、文化的生活への参加を強化し、都市開発計画に文化を統合します。

さらに、本ネットワークは、国連の枠組み、特に「持続可能な開発のための2030アジェンダ」を支持することを約束します。

ユネスコ創造都市ネットワークは、**8つの創造的な分野**を対象としています。：クラフト&フォークアート、デザイン、映画、食文化、文学、メディアアート、音楽、建築 ※2025年新規加盟申請より「建築」分野が追加。

<目的>

ユネスコ創造都市ネットワークは、以下を目的としています。

- ・創造性を持続可能な開発の戦略的要素として認識している都市間の、国際的な協力関係を強化する。
- ・創造性を都市開発の重要な要素とするために、特に、公共部門、民間部門、市民社会が関与するパートナーシップを通じて、加盟都市が主導する取組を促進し、強化する。
- ・文化的活動、商品及びサービスの創造、生産、流通及び普及を強化する。
- ・創造性と革新性の拠点を開発し、文化部門におけるクリエイターや専門家のための機会を拡大する。
- ・特に社会的に疎外された、あるいは脆弱なグループや個人のために、文化的商品とサービスの享受だけでなく、文化的生活へのアクセスと参加を改善する。
- ・文化や創造性を地域の開発戦略や計画に完全に統合する。

<活動分野>

ユネスコ創造都市ネットワークの目的は、特に以下の活動分野を通じて、加盟都市のレベルと国際レベルの両方で実施されています。

- ・経験、知識、優良事例の共有
- ・公共・民間部門や市民社会と連携したパイロット・プロジェクト、パートナーシップ、取組
- ・専門家や芸術家の交流プログラムおよびネットワーク
- ・創造都市の経験に関する調査、研究、評価
- ・持続可能な都市開発のための政策や施策
- ・コミュニケーションと意識向上活動